

組合回覧

平成17年8月23日発行

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 下久堅地区 土地利用計画策定地区懇談会（検討委員会）だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第1回 地区懇談会（検討委員会）が行われました

日時 平成17年8月3日（水） 19:00～21:00

場所 下久堅公民館

参加 検討委員19名、コーディネーター他

当日は、井出和仁先生（農業改良普及支援協会）をコーディネーターに、地区から選出された検討委員が3つのグループに分かれ、地区の現状について議論しました（各グループから出た主な意見は3ページのとおり）。今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



コーディネーターからの説明を聞いています

皆さんが日頃思っている意見を話合いました

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関係する土地利用の課題の共有化、基本的方針（骨格）についての意見の反映
- 下久堅地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

地区（連合）自治会等から推薦された、21名で構成されたメンバーです

<今年度の開催予定>

今年度、上半期は各地区で2回開催し現状把握・将来像について話し合い、下半期は3回程度開催し、地区の土地利用方針について話し合う予定です

第1回 下久堅地区土地利用計画検討懇談会で出た主な意見

地区の現状は？

生活、公共福祉サービス

よいところ・宝

- 隣近所の付き合いが良い
- 安心して暮らせる
- 地価が安い
- 犯罪等が少ない
- 住宅等混んでいない
- 静かで住み良い
- 暖かく雪が少ない
- 緑が多く住みやすい
- 支所、郵便局、農協、小学校、デイサービスなど用足しに便利
- 診療所、デイサービス等がある
- 高齢者、福祉移送サービスが充実している

課題

- 商店が少なく、高齢者の買い物に不便
- バスなどもっと通ってほしい
- 道路が狭い
- 若者が出ていってしまい老人世帯が多い
- 高齢者が増加した場合介護が心配
- 公共交通が少ないため、高齢者の通院が不便
- 3世代家族の福祉サービスの負担が多い
- 福祉ボランティア活動が少ない
- 公民館が狭い
- 公共施設が少ない
- 自分のことは自分でという気持ちをもってほしい

商業・工業

よいところ・宝

- 庶民的でよい
- 工業用地がある

課題

- 地元到店がすくなく、竜西の大型店へ行ってしまう
- 商店が少なく買い物が不便
- もっと工場を入れて人口増を
- 企業が少いため若者が定住しない
- 商店がなくなる
- 発展性に乏しい
- 企業誘致、若者定住には行政の運動が第一

農業

よいところ・宝

- 農業団地等基盤が残る
- 一部では大型経営で後継者もある
- 農地多く各種栽培できる
- 梅、柿の産地
- 高齢者ががんばっている
- 田畑が分れ消毒しやすい
- 遊休農地が多い（農業振興の材料）

課題

- 山間地で手間がかかる
- 高齢化、後継者不足
- 価格保証がなく不安定
- 大原団地のような整備圃場でも耕作者がいなくなっていく
- 休耕地、荒れ地が増えた

拠点・その他

よいところ・宝

- 広域農道から見る夜景の素晴らしさ
- 北原には獅子舞があり地区でまとまる

課題

- 特長となる拠点が無い

自然環境・歴史・文化

よいところ・宝

- 豊かな自然が残っている
- 雄大なクセーションが見れる
- 天竜川の魚釣りやラフティングなど素晴らしい
- 神社など史跡が多い
- 有名な芸術家を輩出

課題

- 歴史、文化にふれる機会が少ない
- 自然を活用していない
- 良い所は多いがPR不足
- 自然環境は良いがどう整備していくか

将来

下久堅地区はこうなっていきたい・こうなっていほくない
(次のページへ)



こうなってほしい・こうなってほしくない

生活・公共・福祉サービス

高齢者に便利な商店がほしい
高齢者宅への配達
活気ある商店街
市民バスの拡充
生活道路の改良
三遠南信道の早期完成
居住地の増加で人口増加を
空き家対策
高齢者のための無料福祉バスを
福祉サービス・施設の充実
近所どうし助け合える地域
子育て支援の充実
緑が減少し、ゴミゴミした住宅地
公共交通は廃止してほしくない
必要以上の道路整備
過疎で無気力な地域
独居老人、寝たきり老人の多い地域
空き家の増加
交通整備による商業の衰退

商業・工業

若者が働く場のある地域
大型ショッピングセンターがほしい
工業の発展で若者の定住を図りたい
知久平商業地がにぎやかになってほしい
自然破壊につながる産業誘致は慎重に
若者不在の地域（特に昼間）

農業

農業経営の安定、自立
農業を活用した観光
地形、気候を生かした特産品
遊休地を活用した都市交流
都市との体験交流施設の拡充

農業（つづき）

休耕地をなくし自然を残す（農 林）
農地と宅地の混在
産廃施設への転用増加
農地の荒廃

自然環境・歴史・文化

歴史的に古い知久城のPRを
40年前の里山を取り戻したい
下久堅はこれだというものがある（例 桜、梅）
森林整備・活用
和紙をブランドに
歴史、文化を伝える教育
自然を生かした観光を
自然環境をこわしてほしくない
森林の荒廃

拠点・その他

知久平に城址施設をつくる
竜東の拠点施設
こども、若者が遊べる場所
公民館を中心とした拠点の確立
三遠南信のパーキング設置を
上中下段ごとの土地利用
人口増だけでなくバランスのとれた発展を
閑散とした忘れられた地域

少し広域で下久堅を見た場合

下久堅から見る景色は最高。もっと知ってもらいたい
合併後は竜東地域の玄関となる
多地区へのPR材料がない
竜西との格差が大きい
公共施設が少ない

次回、第2回懇談会は次のとおり開催します。

日時 平成17年9月8日（木）8：30～12：00

場所 下久堅公民館

内容 地区内のタウンウォッチングを行い、第1回懇談会で出された よいところ・課題・将来等を地図上に整理し、地区の現状・将来について話合います
地区内の方で参加を希望される方は、下記まで事前にご連絡下さい。

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします。
ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください。

飯田市役所

〒395-0817

飯田市 東区

21-3217 Fax 52-6181

連絡先

農業課 小椋または農業委員会 木下

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、
飯田市ホームページでもご覧になれます
ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」